

# 地域介護力アップのための認知症講演会

テーマ：マス(集団)と個人に対応する認知症ケア

認知症最先端の研究者によるわかりやすく本質に迫る内容です

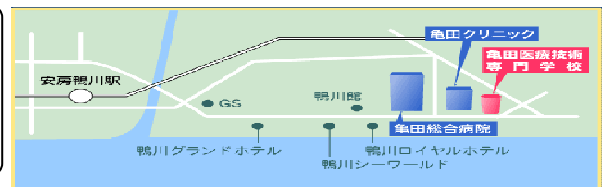
講演概要：認知症とは？ 認知症のケア（理解と対応の仕方）、認知症の精神神経内分泌免疫学（脳や神経、ホルモンなどとの関係についての解説）、認知症高齢者の生活の質の向上を目指すプログラムモデルが生活の質や意欲、行動に及ぼす効果について、など。

開催日時：平成20年11月8日（土）開会14時15分（開場14時）

（終了後床ずれ予防寝具の説明会あり。認知症講演は17時頃終了）閉会17時半頃

開催場所：亀田医療技術専門学校2階ホール（駐車場はパーキング棟又は病院裏をご利用下さい）

参加費 無 料 どなたでもご参加できます  
事前予約不要  
問合せ先：090-7402-3941(久保)04-7093-2626（エビハラ病院内担当薬局久保）  
\*会場や亀田病院クリニックへのお問い合わせはご遠慮下さい



参加対象：一般住民(認知症を予防したい方)、介護者家族、医療・介護従事者、看護学生、保健推進員等

講師：末丸修三先生（広島県 医療法人絃友会 福山友愛病院副院長、医学博士）

講師プロフィール 1976年、岡山大学医学部卒。岡山大学医学部第三内科にて「ストレスにおける脳内 CRH 分泌機構」を研究、医学博士授与。1986-1988年、米国カリフォルニア大学サンフランシスコ校(UCSF)医学部神経内分泌生理学研究室へ、NASA などからの研究援助により博士研究員として留学。原因不明のクッシング病が視床下部の異常で発病することを発見。英・ケンブリッジ国際伝記センターIBC より、20世紀の著名な科学者2000人のひとりとして表彰、米・伝記センターABIでも国際的影響力のあるリーダー500人のひとりとして受賞。1992～2008年3月までの17年間にわたり、高知大学医学部内分泌代謝・腎臓内科学講座(第二内科)非常勤講師。現在、福山友愛病院副院長、同病院附属精神神経医学研究所所長。学術業績(国内外)多数。招請講演多数。学会活動：日本老年精神医学会専門医・指導医・評議員、日本認知症ケア学会評議員、日本内分泌学会認定内分泌代謝科(内科)専門医・代議員、等要職多数。特に日本老年精神医学会において評議員を務め、本年4月発行の同学会準機関誌である「老年精神医学雑誌」第19巻第4号の「巻頭言」を執筆。



主催 NPO 法人 床ずれ研究会 (第3回講演会)

協力：千葉県庁 NPO 活動推進課 後援：鴨川市、安房医師会、千葉県薬剤師会館山・鴨川支部、鴨川市社会福祉協議会、社団法人認知症の人と家族の会千葉支部、千葉日报社、房日新聞 協賛企業：(株)ケーブ、新田ゼラチン(株)、三宝製薬(株)、理可工業(有)、介護ショップふきのとう(有エフエス)、信晴介護システムズ(株)、(株)イデアライズコーポレーション

床ずれ研究会：TEL 090-7402-3941、Fax 04-7093-6030 担当久保 メールアドレス tokozure@kamogawa.jp